教育研究業績書

2023年05月25日

所属： 教育学科　　資格： 非常勤講師　　氏名： 本多　千明

研究分野	研究内容のキーワード
教育学、教科教育学、社会科教育	教材開発、シティズンシップ、教育政策、子ども、ボランティア
学位	最終学歴
博士（教育学）,修士（教育学）,学士（経済学）	同志社大学大学院 文学研究科 教育学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.高校での模擬授業	2017年9月12日	大阪府立高槻北高等学校の教志コース生を対象として、小学校社会科の学習内容に関する模擬授業を行った。学生生活に関することや、小学校教諭免許状の取得方法について紹介した。
2.高等学校の見学受け入れ	2014年10月23日	大阪府立東百舌鳥高等学校の見学受け入れを行った。「小学生に社会科をわかりやすく教えるには」と題して、小学校社会科の学習内容に関する模擬授業を行った。学生生活に関することや、小学校教諭免許状の取得方法について紹介した。
3.高校での模擬授業	2014年2月4日	高大連携事業として武庫川女子大学附属高等学校で模擬授業を行った。内容は、小学生に社会科を教えるにはどのような工夫が必要なのか、具体的な教材を作成する方法について解説した。
4.高校での模擬授業	2013年2月9日	京都聖母学院高等学校で、模擬授業を行った。武庫川女子大学文学部教育学科における学びについて説明し、学生生活に関することや小学校教諭免許状などの取得方法について紹介した。
5.高校での模擬授業	2012年11月22日	「小学校の先生になるには？」と題して、兵庫県立芦屋高等学校で模擬授業を行った。小学校の教員になるには、教員免許状を取得して、教員採用試験に合格する必要があることを説明した。また、小学校教員の授業のDVDを視聴し、具体的に小学校教員の仕事内容が理解できるように説明を行った。
6.高校での模擬授業	2007年9月	大阪商業大学堺高等学校にて、「教師になる方法」と題して、教育学に関するガイダンスを行った。どのようにすれば、教師になることができるのかを、具体的に説明した。

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.小学校教諭一種免許状	2009年03月	京都府教育委員会
2.高等学校教諭一種免許状（情報）	2003年5月	京都府教育委員会
3.高等学校教諭専修免許状（地理歴史）	2001年03月	京都府教育委員会
4.高等学校教諭専修免許状（公民）	2001年03月	京都府教育委員会
5.中学校教諭専修免許状（社会）	2001年03月	京都府教育委員会
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.『初等社会科教育の理論と実践－学びのレリバンスを求めて－』	共	2022年9月1日	原田智仁編著、教育情報出版、pp.175-179.	小学校第6学年の単元「日本とつながりの深い国々」では、グローバル化する世界と日本の役割について考察する。数か国を取り上げて学習し、他国の人々の生活や文化を理解することが必要である。社会科と総合的な学習の時間との連携を、どのように行うことができるのかについて検討した。
2.『多様化時代の社会科授業デザイン』	共	2020年12月	金子邦秀監修、学校教育研究会編、晃洋書房、pp.156-164	子どもの社会性を伸ばし、変動する社会に適応し発展させる力を育成する、歴史から市民性まで社会科教育の考え方と授業のデザインを紹介した図書である。第15章「公共的な諸課題の解決を目指した市民性教育に関する一考察―兵庫県西宮市の環境学習を事例として―」の箇所を、分担執筆した。
3.社会科教育のルネサンス-実践知を求めて-〔第2版〕【再掲】	共	2020年1月	原田智仁、水山光春、岡明秀忠、藤原孝章、本多千明、教育情報出版	「社会科における教科書の活用」の箇所を、分担執筆した。
4.『社会科教育のルネサンス』	共	2016年4月	原田智仁、水山光春、岡明秀忠、藤原孝章、本多千明、保育出版社、pp.89-92	「社会科における教科書の活用」の箇所を、分担執筆した。
5.『教育学科への招待』	共	2015年4月	武庫川女子大学出版部	「社会科教育」の箇所を、分担執筆した。
6.『教育課程論のフロンティア』	共	2010年9月	伊藤一雄、伊藤良高、中谷彪、冨江英俊、大津尚志、本多千明他18名、晃洋書房、pp.29-34	「小学校の教育課程」の箇所を、分担執筆した。
7.『グローバル教育の理論と実践』	共	2007年11月	魚住忠久、加藤幸次、今谷順重、土屋武志、金子邦秀、本多千明他54名、日本グローバル教育学会（編）教育開発研究所 pp.190-191	「異文化間教育」の箇所を、分担執筆した。
8.『１週間で覚える初級シスアド基礎用語』	共	2000年8月	本多千明他37名、メディアMAI編、ソフトバンクパブリッシング㈱ pp.142-161	「第5日パーソナルコンピュータとネットワーク」の部分を、分担執筆した。
2 学位論文				
1.『アメリカ合衆国の社会科教科書の内容構成に関する研究－「シルバー社会科」を中心として－』	単	2007年3月	博士（教育学）、同志社大学	アメリカ合衆国の社会科教科書の内容構成について新社会科以降に出版された教科書を取り上げて考察した。各年代に出版された教科書の内容構成の意義や課題を明らかにした。アメリカの社会科教科書の内容構成は知識と技能が体系的に教授することを目指している。本研究では、日本の社会科教科書の内容構成に関する示唆を得た。
2.『アメリカの小学校社会科における技能教授と内容構成』	単	2001年3月	修士（教育学）、同志社大学	アメリカの小学校社会科における技能教授と内容構成について『シルバー社会科』の教科書を中心に考察した。アメリカの社会科では、知識と技能を体系的に学習する内容構成であり日本でも参考となる原理であることを明らかにした。
3 学術論文				
1.社会科地理教育における公共的な諸課題を解決するための社会参加学習－環境学習に取り組む事例を通して―	単	2021年3月	『教育文化』同志社大学社会学部教育文化学研究室 第30号 pp.101-116.	「よりよい社会の形成に参画する資質や能力」をどのように育成するのが良いのかについて、社会科地理教育における公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画する方策について考察した。兵庫県西宮市では、2023年度までに全ての市立学校でのコミュニティ・スクールを目指している。社会科地理教育で目指されている社会参加学習は、社会教育や行政でも「協働」をキーワードとして、これ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				からますます重要な位置づけになろう。
2.「『見方・考え方』を鍛えるための小学校社会科授業内容 ―リヴォイシングを活用して行う大学の模擬授業を事例として―」（査読付）	共	2020年3月	『教育学研究論集』武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻　第15号	リヴォイシングとは，児童の発言を再明確化することである。発言した児童に主題や他の児童と連携したり対立したりする立場を与え、話し合いの中で物事を位置づけるものである。実際の模擬授業やメンタリング、振り返りを検証することで、リヴォイシングを活用して行う授業内容について考察し、「見方・考え方」を鍛えるための方策について考察した。
3.「小学校教育実習後の学習ニーズについて」	共	2015年9月	文部科学省、大学改革推進等補助金（大学間連携共同教育推進事業）「教員養成高度化システムモデルの構築・発信」中間報告書、2巻、pp.25-29.	教職課程を履修する学生は、教育実習に参加する必要がある。教職を目指す学生が、小学校教員実習後にどのような学習ニーズを有しているのかについて、アンケート調査を行った。大学を卒業した後は、大学院に進学するのではなく、教師として勤務することを選択する学生が多く、その理由について考察を行った。
4.「社会科教育における社会参加学習に関する一考察」（査読付）	単	2014年3月	『教育学研究論集』武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻　第9号 pp.21-27	本研究では、生徒の市民性を発達させることをねらいとした教育方法である、アメリカで誕生したサービス・ラーニングに注目し、「よりよい社会の形成に参画する資質や能力」を育成する方策を考えるために、市民性育成に関する取り組みや、日本におけるサービス・ラーニングの適用可能性と期待される効果について検討した。
5.「市民性の育成を目指した環境学習に関する一考察」（査読付）	単	2013年3月	『教育学研究論集』武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻　第8号 pp.23-29	市民と学校との協同による環境学習の事例を取り上げ、児童生徒の体験的な学習活動を通して、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成できる、市民性（シティズンシップ）の育成を目指した実践例を取り上げて、考察を行った。
6.「子どもの環境意識を高めるための教育活動」（査読付）	単	2012年2月	『サピエンチア 聖トマス大学論叢』聖トマス大学論叢編集委員会　第46号pp.142-156	
7.「子どもの地域参画を通じた市民性育成に関する一考察－福井県美浜町新庄地区を事例として－」（査読付）	単	2011年3月	『同志社政策科学研究』同志社大学政策学会　第12巻（第2号） pp.155-166	小学生による政策提言が発端となり、「地域の課題を見いだし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養う」ことを目的とした教育活動に取り組む事例を取り上げ、児童生徒の人間形成と学力形成にあたる教師の教育実践力について考察した。
8.「市民性の育成を目指した社会参加学習－シティズンシップ教育の可能性―」（査読付）	単	2011年2月	『サピエンチア 聖トマス大学論叢』聖トマス大学論叢編集委員会　第45号 pp.142-156	
9.「マルチメディアを活用した教材開発－身近な地域の環境問題学習を中心にして－」（査読付）	単	2009年2月	『サピエンチア 聖トマス大学論叢』聖トマス大学論叢編集委員会　第43号 pp.93-105	本研究は、社会科におけるマルチメディアを活用した教材開発を行った。学習者が、「水問題」から「身近な地域を調べる」学習を行い、環境問題に関心を持ち、社会参画につながる授業づくりを目指した。地図学習の指導と同様に、情報活用能力を育成する指導も系統的に行う必要性を指摘し、小・中・高の一貫カリキュラムを構築する課題を残した。
10.「1970年代アメリカ合衆国における地理教育内容構成－『シルバー社会科』を手がかりとして－」（査読付）	単	2005年10月	『社会系教科教育学研究』社会系教科教育学会　第17号　pp.43-51	アメリカの1970年代地理教育の内容構成について『シルバー社会科』を手がかりとして考察した。グローバル学習については、1970年代における社会科教科書の内容構成が参考になることを明らかにした。
11.「アメリカの1990年代地理教育の内容構成－シルバー社会科	単	2005年3月	『社会科研究』全国社会科教育学会　第62号　pp.51-	アメリカの1990年代地理教育の内容構成について、シルバー社会科の『世界地理』を手がかりとして、「地理の5大テーマ」と地球的諸課題を中心に考察し、アメリカの1990年代の地理教育の課題を明ら

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
『世界地理』にみる５大テーマと地球的諸課題－」（査読付）			60	かにした。
12.「情報活用能力を育成する地図学習の体系－アメリカの教材「シルバー社会科」を手がかりとして－」	単	2002年3月	『教育文化』同志社大学文学部教育学研究室　第11号　pp.36-55【教育学論説資料集掲載】	アメリカの教科書『シルバー社会科』を手がかりとして、情報活用能力を育成する地図学習の体系を考察した。地図学習スキルは内容に伴って体系的に教授すべきであることを明らかにした。
13.「アメリカの小学校社会科における技能教授の体系」	単	2001年3月	『教育学研究年報』同志社大学大学院教育学研究室　第5号　pp.41-48	アメリカの小学校社会科における技能教授の体系について考察した。修士論文をもとに『シルバー社会科』の技能教授の体系について明らかにした。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.地域の教育力を高めるための社会参加学習に関する取組	単	2021年9月	日本教育方法学会、第57回宮城教育大学大会（オンライン発表）	
2.Learning about the sustainable development goals in lower secondary school Social Studies classes in Japan.（査読付）	共	2021年7月	2021 7th International Conference on Teaching and Education Sciences.Kyoto, Japan.(Online)	
3.中学校地理的分野における「持続可能な社会」の構築に関する一考察	単	2021年6月	異文化間教育学会第42回・日本国際理解教育学会第30回 合同大会『発表抄録集』pp.211-212. 玉川大学(オンライン発表)	
4.公共的な諸課題を解決する視点からの授業 －中学校地理的分野単元「日本の諸地域」を事例に－	単	2021年2月	社会系教科教育学会、第32回研究発表大会（オンライン掲載型）	
5.「社会参画を目指した小学校社会科における情報教育に関する研究―小学校5年生単元『情報社会に生きる私たち』を事例として―」	共	2020年11月	『日本社会科教育学会全国大会発表論文集』日本社会科教育学会　第16号　pp.82-83.（オンライン掲載型）	
6.「公共的な諸課題の解決を目指した市民性教育に関する一考察－兵庫県西宮市の環境学習を事例として－」	単	2020年2月	『発表要旨集録』社会系教科教育学会　第31号	
7.「『見方・考え方』を鍛えるための小学	共	2019年9月	『日本社会科教育学会全国大会発表	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
校社会科授業内容ーリヴォイシングを活用して行う大学の模擬授業を事例としてー」			論文集』日本社会科教育学会　第15号	
8.「地域における子どもを対象とした市民性の育成に関する研究」	単	2015年6月	『研究発表抄録』日本国際理解教育学会　第25号 pp.48-49	
9.「環境意識を高めるための社会参加学習に関する一考察」	単	2014年2月	『発表要旨集録』社会系教科教育学会　第25号 pp. 118-119	
10.「市民と学校との協同による環境学習－実践型環境体験学習を中心としてー」	単	2013年02月	『発表要旨集録』社会系教科教育学会　第24号　pp. 42-43	
11.「シティズンシップ教育におけるボランティア体験の意義に関する一考察」	単	2012年9月	『研究発表抄録』日本グローバル教育学会 P.10	
12.「市民性の育成を目指した社会参加学習」	単	2010年9月	『発表要旨集録』日本グローバル教育学会　第18号 pp.28-29	
13.「持続可能な社会形成に向けた地域学習」	単	2009年9月	『発表要旨集録』日本グローバル教育学会　第17号 pp.8-9	
14.「中学校社会科におけるマルチメディアを活用した教材開発」	単	2008年10月	『日本社会科教育学会全国大会発表論文集』日本社会科教育学会　第4号 pp.234-235	
15.「小学校社会科における地理の学習内容ーアメリカの教科書を手がかりとしてー」	単	2005年10月	『発表要旨集録』日本社会科教育学会　第１号　pp. 226-227	
16.「新社会科以降の教科書に見るグローバルな視点」	単	2005年9月	『発表要旨集録』日本グローバル教育学会　第13号 pp.22-23	
17.「新社会科以降における教科書の内容構成原理の時代的変遷(2)」	単	2005年2月	『発表要旨集録』社会系教科教育学会　第16号　pp. 66-67	
18.「新社会科以降のアメリカ社会科教科書の内容構成原理の時代的変遷(1)」	単	2004年10月	『発表要旨集録』全国社会科教育学会　第53号　P.95	
19.「アメリカ中等社会科における地理の教授－『World Geography』に見る5大テーマと技能の教授－」	単	2003年10月	『発表要旨集録』全国社会科教育学会　第52号　P.24	
20.「地理教育を基盤としたGlobal Issuesの	単	2003年9月	『発表要旨集録』日本グローバル教	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
考察－シルバー社会科『World Geography（中等教育版）』を手がかりとして－」			育学会　第11号 pp.6-7	
21.「マルチメディアを用いた社会科教材開発－小３単元「わたしたちの校区たんけん－」	単	2002年10月	『発表要旨集録』日本社会科教育学会　第52号　P.70	
22.「アメリカの小学校社会科における技能教授の体系的指導」	単	2000年9月	『発表要旨集録』全国社会科教育学会　第49号　P.53	
３．総説				
1.「自由研究発表《第１分科会》」	単	2015年1月	「自由研究発表《第１分科会》」『日本グローバル教育学会ニュースレター』第21号 P.6	
2.「教員採用試験の出題内容から見た『情報モラル』の必要性」	単	2013年12月	『情報教育研究センターニュース』第18-2号 P.2	
3.「自由研究発表Ｉのまとめ」	単	2012年1月	「自由研究発表Ｉのまとめ」『日本グローバル教育学会ニュースレター』第18号 pp.2-3	
4.「学会動向：記憶に刻まれたシンポジウムでの活動」	単	2009年10月	『日本国際理解教育学会会報』vol.35 No.1　P.8	
5.「書評：藤原孝章著『シミュレーション教材「ひょうたん島」問題－多文化共生社会ニッポンの学習課題』	単	2008年10月	『同志社時報』学校法人同志社　第126号　P.93	
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.「地域をフィールドとした市民性の育成に関する研究」	単	2015年1月	研究報告、学校教育研究会、第17回、於同志社大学	
2.「中学校社会科における地理情報システムを活用した学習」	単	2008年5月	研究報告、授業のミニネタ研究会、第1回、於東大阪市立市民会館	
3.「アメリカの小学校社会科における『地理の5大テーマ』の活かし方」	単	2007年9月	研究報告、教育文化学会、17回、於同志社大学	
4.「地理教育の技能教授に関する一考察」	単	2007年8月	研究報告、授業のネタ研究会、第12回、於東大阪市立市民会館	
5.「マルチメディアを	単	2002年11月	研究報告、学校教	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
用いた社会科教材開発－小３単元わたしたちの校区たんけん－」			育研究会、第６回、於同志社大学	
6.「アメリカの小学校社会科における地域学習についての一考察」	単	2001年9月	研究報告、教育文化学会、第11回、於同志社大学	
7.「アメリカの小学校社会科における技能教授に関する一考察－「シルバー社会科」をてがかりとして－」	単	2000年9月	研究報告、学校教育研究会、第４回、於高野山大学	
６．研究費の取得状況				
1.公共的な諸課題を解決するための市民性教育に関する基礎的研究	単	2019年4月	基盤研究（C）、2019年度～2023年度、日本学術振興会、研究代表者	
2.『地域をフィールドとした市民性の育成に関する基礎的研究』	単	2014年4月	若手研究（B）、2014年度～2017年度、日本学術振興会、研究代表者	
3.『社会科地理教育における市民性の育成を目指した比較的実証的研究』	単	2010年4月	若手研究（B）、2010年度～2012年度、日本学術振興会、研究代表者	
4.『中学校社会科地理的分野における地理情報システムを活用した教材開発』	単	2007年4月	若手研究（スタートアップ）、2007年度～2008年度、日本学術振興会、研究代表者	

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2020年2月～	西宮市社会教育委員
2.2017年4月～	西宮市環境計画評価会議委員
3.2012年7月～2018年6月	宝塚市公民館運営審議会委員
4.2008年10月～2020年10月	尼崎市環境審議会委員
	日本国際理解教育学会
	日本教育方法学会
	関西教育学会
	教育文化学会　2012年度～評議員
	社会系教科教育学会
	日本グローバル教育学会　2010年度～理事、2021年度～常任理事、副会長（事務局長）
	全国社会科教育学会
	日本社会科教育学会